

(6) 地域別の状況

《児童生徒質問紙調査及び児童生徒意識調査》

※県全体の回答との差が

- 2. 0以上5. 0未満は「やや高い」「やや低い」
- 5. 0以上は「高い」「低い」と標記しています。

① 児童生徒の様子

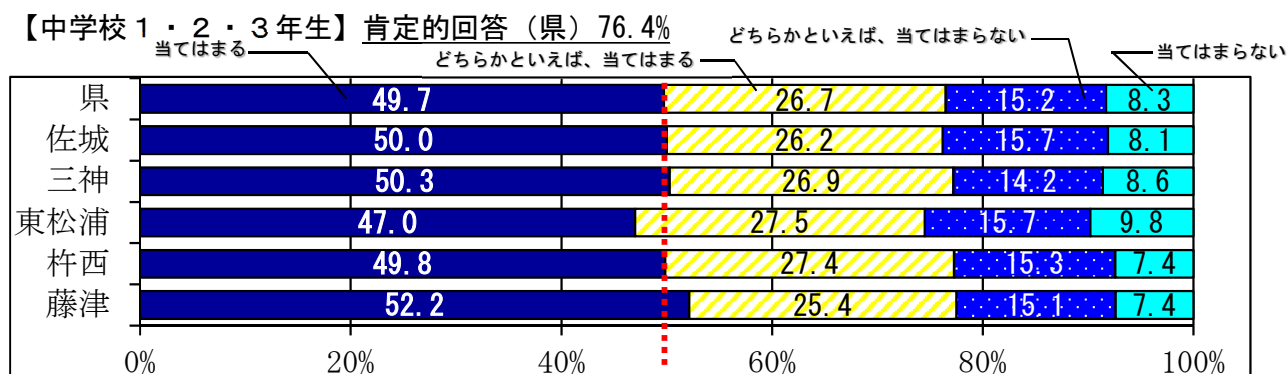
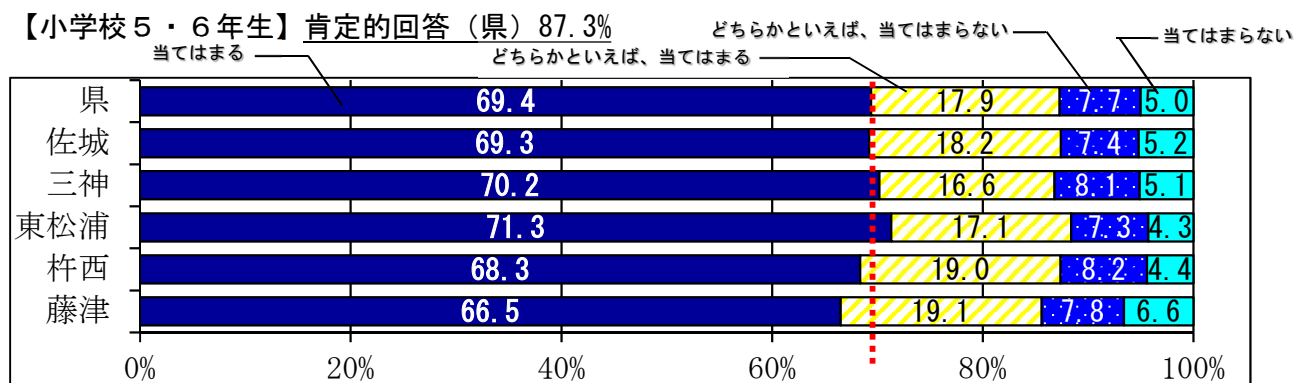
- 「将来の夢や目標を持っている」に「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、小学校では70%程度であり、県と比べて藤津地域がやや低い。中学校では50%程度であり、県と比べて藤津地域がやや高く、東松浦地域がやや低い。

[グラフ 39]

- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」に「そう思う」と答えた児童生徒の割合は、小学校では75%程度であり、県と比べて杵西地域がやや低い。中学校では70%程度であり、県と比べて佐城地域・藤津地域がやや高く、東松浦地域・杵西地域がやや低い。[グラフ 40]

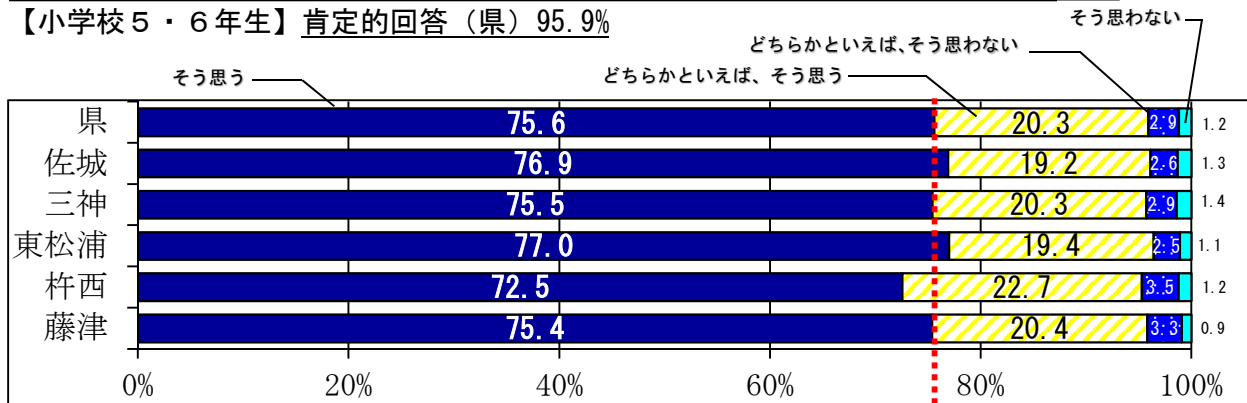
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」に「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、小学校では50%程度であり、県と比べて杵西地域・藤津地域が高く、佐城地域が低く、東松浦地域がやや低い。中学校では30%程度であり、県と比べて杵西地域・藤津地域が高く、佐城地域が低く、三神地域・東松浦地域がやや低い。[グラフ 41]

[グラフ 39] 将来の夢や目標を持っている。

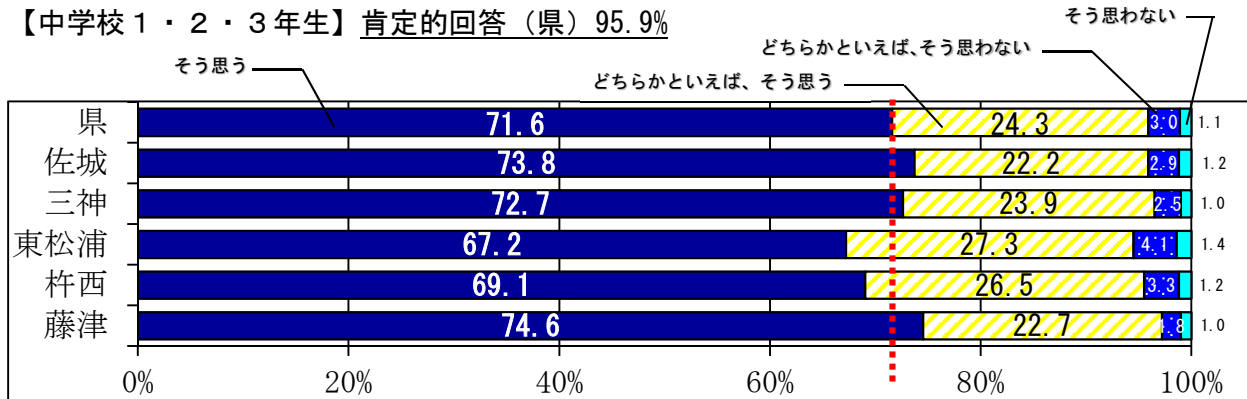


[グラフ 40] 人の役に立つ人間になりたいと思う。

【小学校 5・6 年生】 肯定的回答 (県) 95.9%

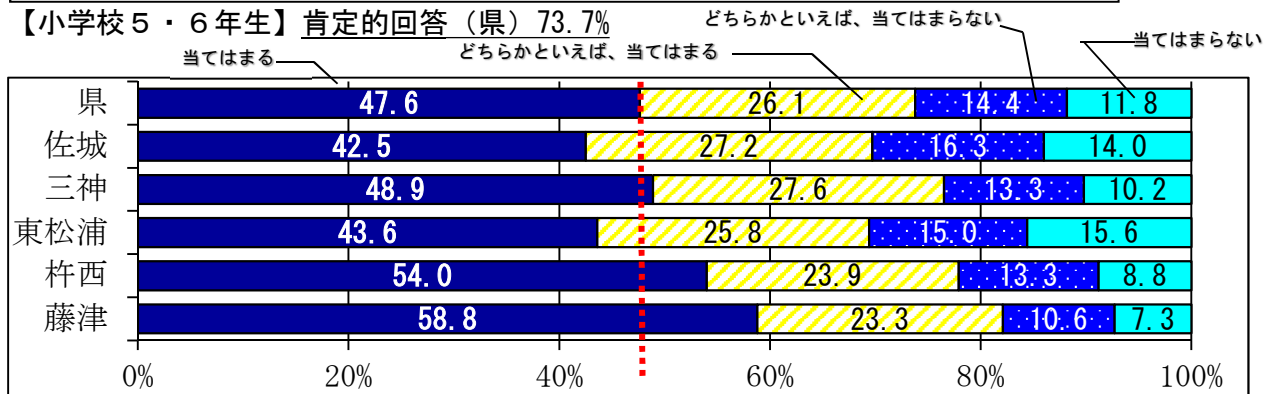


【中学校 1・2・3 年生】 肯定的回答 (県) 95.9%

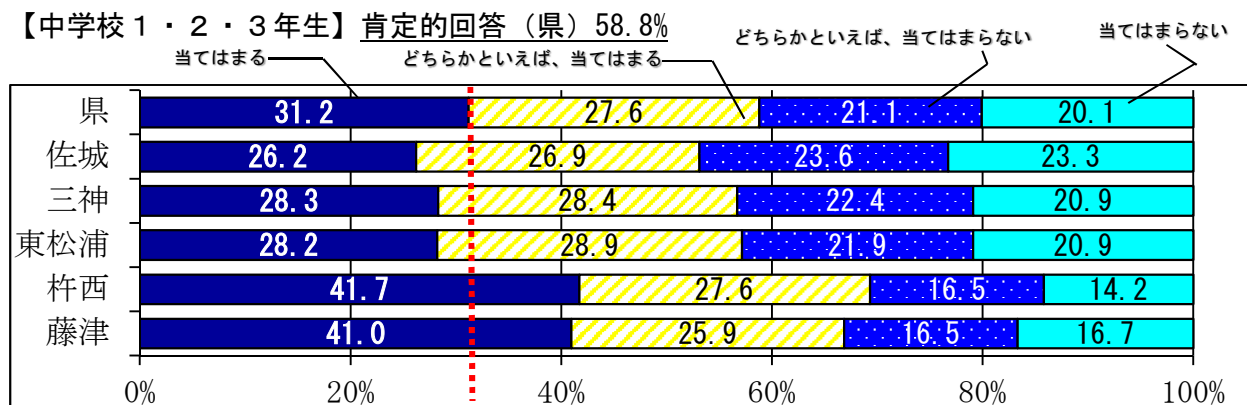


[グラフ 41] 今住んでいる地域の行事に参加している。

【小学校 5・6 年生】 肯定的回答 (県) 73.7%



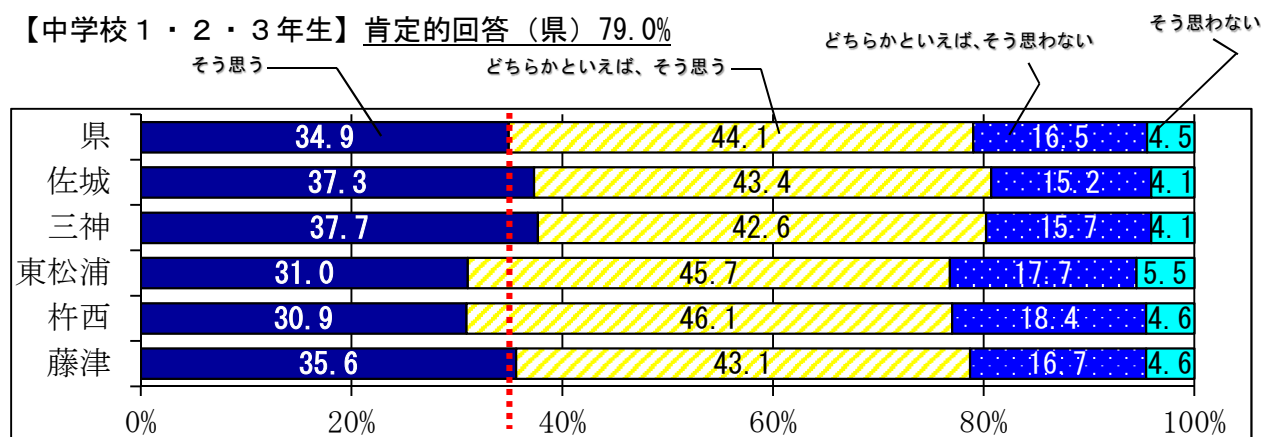
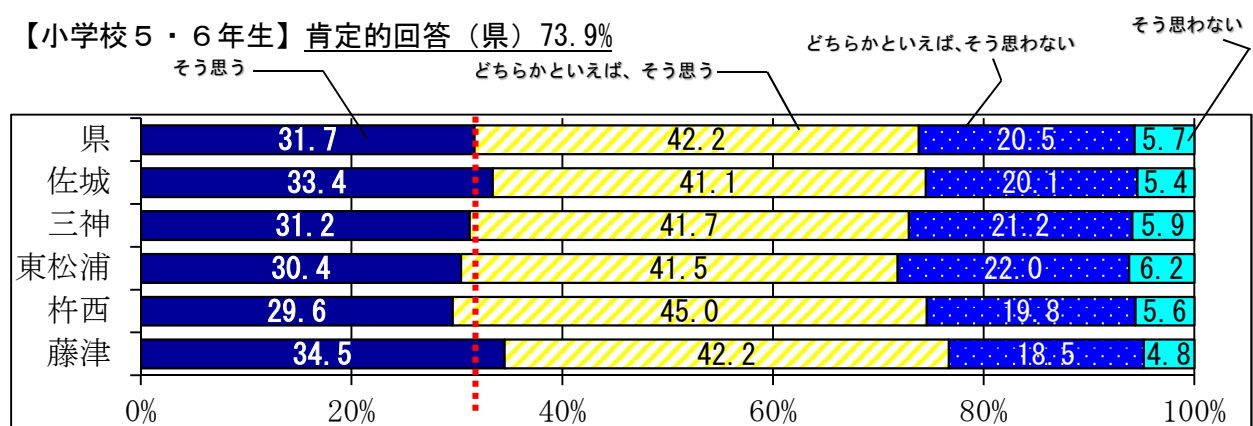
【中学校 1・2・3 年生】 肯定的回答 (県) 58.8%



② 学校での学習について

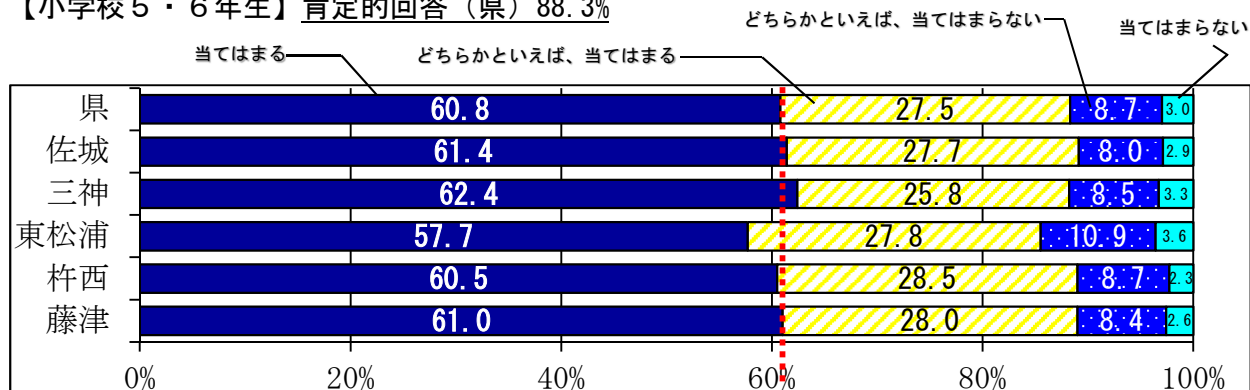
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」について、「そう思う」と答えた児童生徒の割合は、小学校では30%程度であり、県と比べて藤津地域がやや高く、杵西地域がやや低い。中学校では35%程度であり、県と比べて佐城地域・三神地域がやや高く、東松浦地域・杵西地域がやや低い。[グラフ 42]
- 「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」について、「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、小学校では60%程度であり、県と比べて東松浦地域がやや低い。中学校では55%程度であり、県と比べて佐城地域・三神地域・藤津地域がやや高く、東松浦地域が低い。[グラフ 43]
- 「理科の授業の内容はよく分かる」について、「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、小学校では60%程度であり、三神地域・藤津地域がやや低い。中学校では35%程度であり、県と比べて東松浦地域がやや低い。[グラフ 44]

[グラフ 42] 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う。

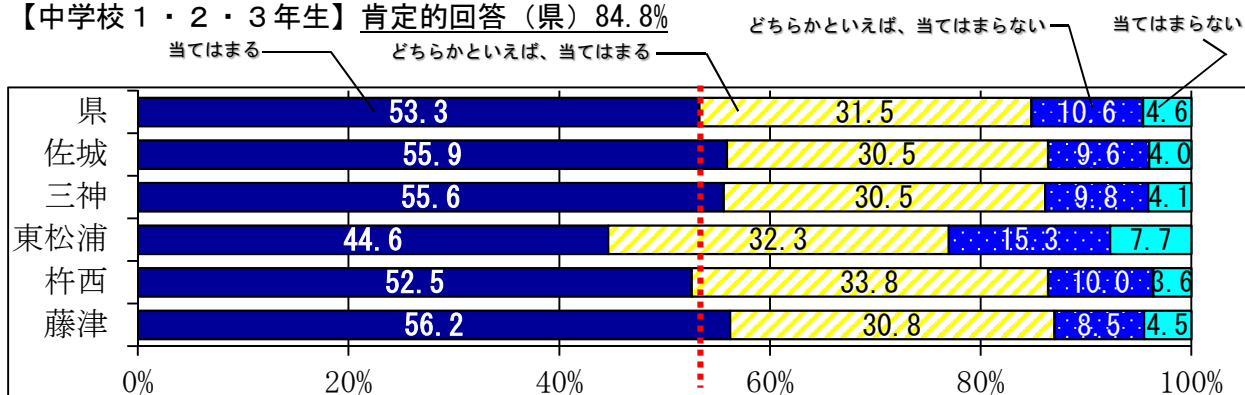


[グラフ 43] 算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

【小学校5・6年生】肯定的回答（県）88.3%

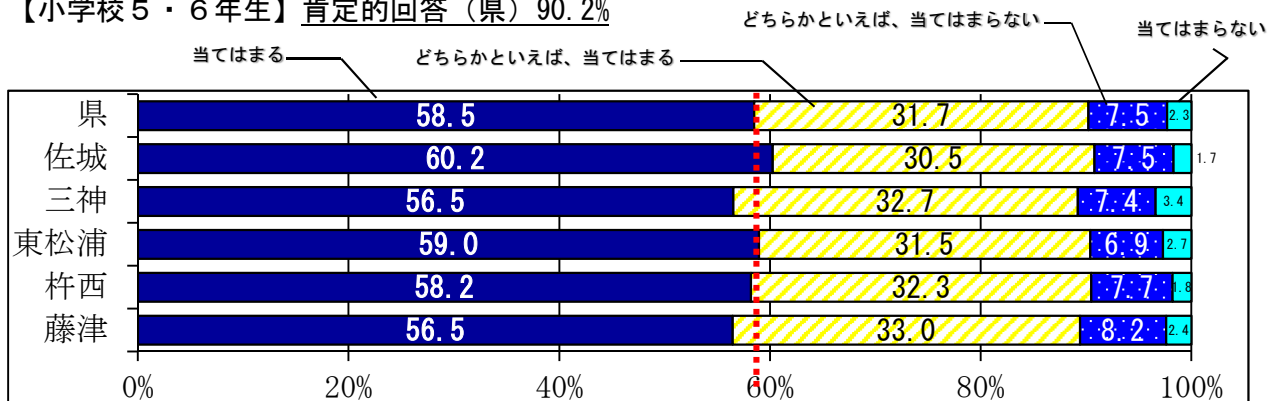


【中学校1・2・3年生】肯定的回答（県）84.8%

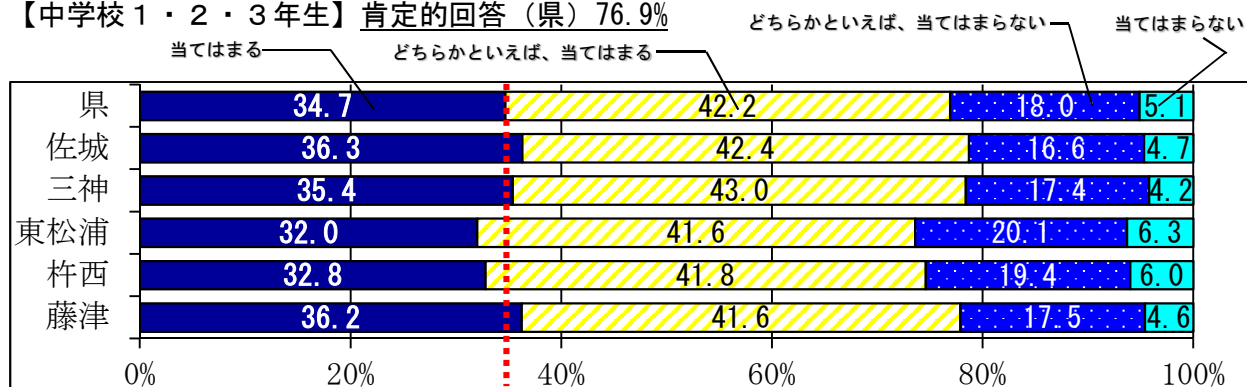


[グラフ 44] 理科の授業の内容はよく分かる。

【小学校5・6年生】肯定的回答（県）90.2%



【中学校1・2・3年生】肯定的回答（県）76.9%

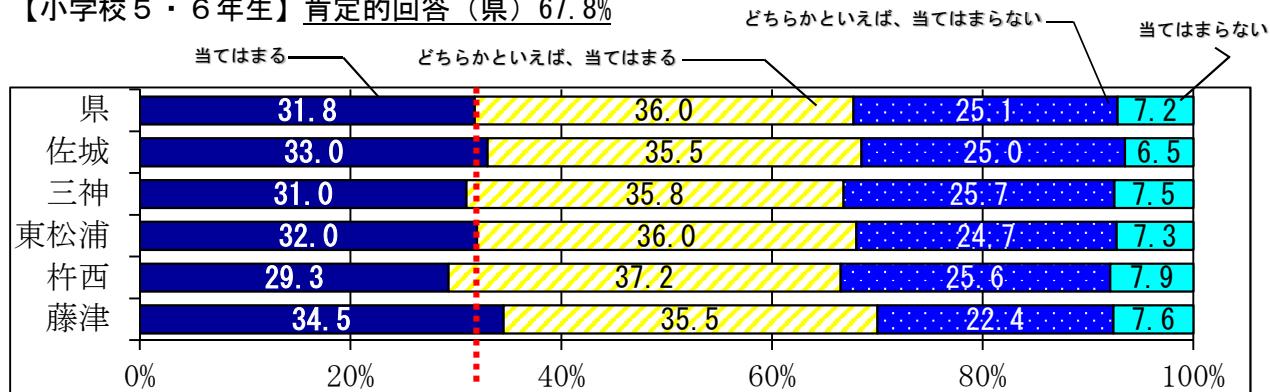


③ 家庭での学習について

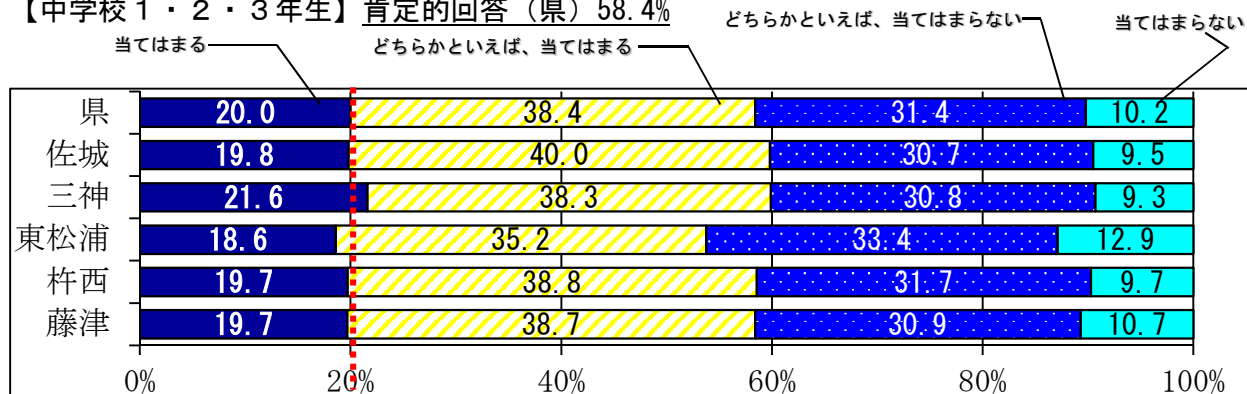
- 「自分で計画を立てて勉強をしている」について、「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、小学校では30%程度であり、県と比べて藤津地域がやや高く、杵西地域がやや低い。中学校では20%程度であり、どの地域も同程度である。[グラフ 45]
- 「普段（月曜日から金曜日）、1時間以上勉強している」児童生徒の割合は、小・中学校ともに60%程度であり、小学校では県と比べて東松浦地域・藤津地域がやや低い。中学校では県と比べて杵西地域がやや高く、東松浦地域が低い。[グラフ 46]

[グラフ 45] 自分で計画を立てて勉強をしている。

【小学校5・6年生】肯定的回答（県）67.8%

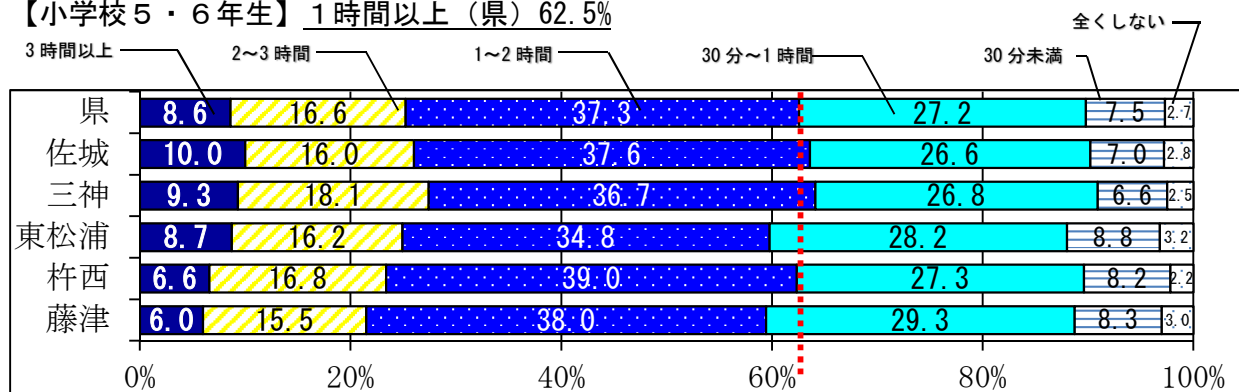


【中学校1・2・3年生】肯定的回答（県）58.4%

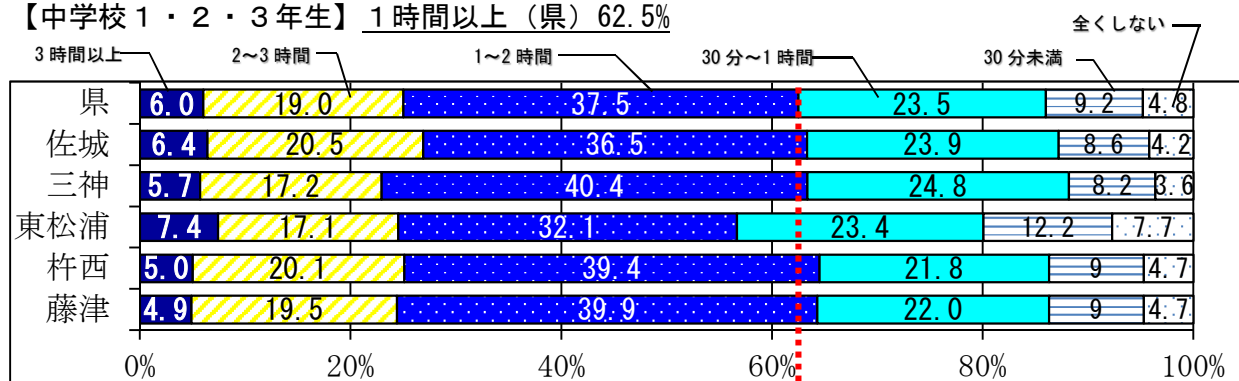


[グラフ 46] 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）

【小学校5・6年生】1時間以上（県）62.5%



【中学校1・2・3年生】1時間以上（県）62.5%



《学校質問紙調査》

※県全体の回答との差が

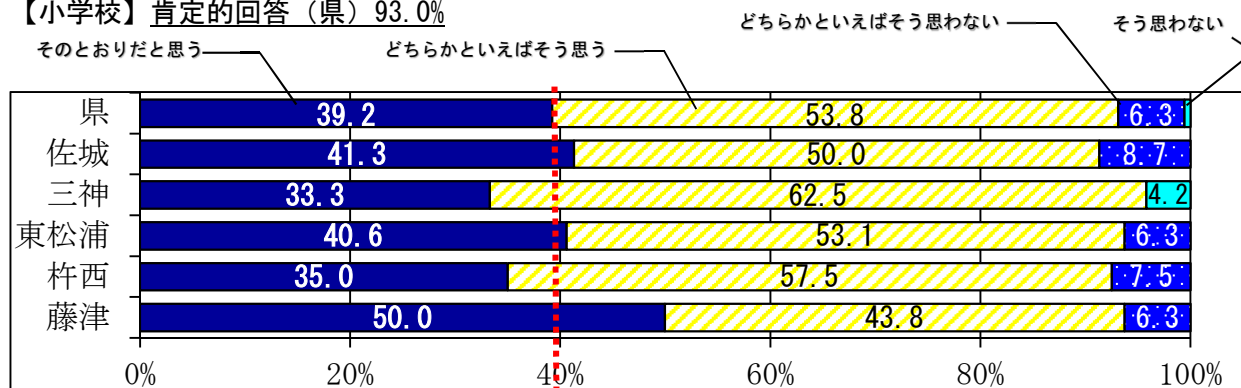
5.0以上は「高い」「低い」と標記しています。

① 児童生徒について

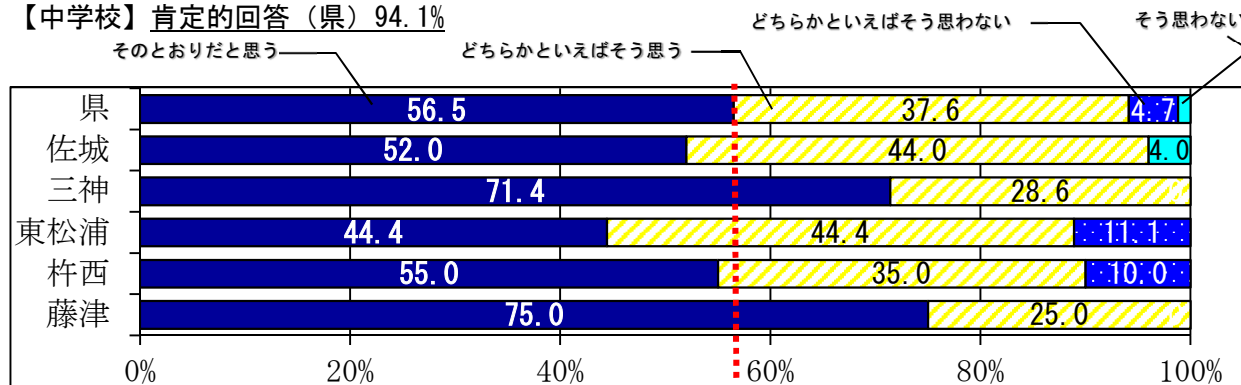
- 「授業中の私語が少なく、落ち着いている」について、「そのとおりだと思う」と回答した学校の割合は、小学校では40%程度であり、県と比べて藤津地域が高く、三神地域が低い。中学校では55%程度であり、県と比べて三神地域・藤津地域が高く、東松浦地域が低い。[グラフ47]

[グラフ47] 児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている。

【小学校】肯定的回答（県）93.0%



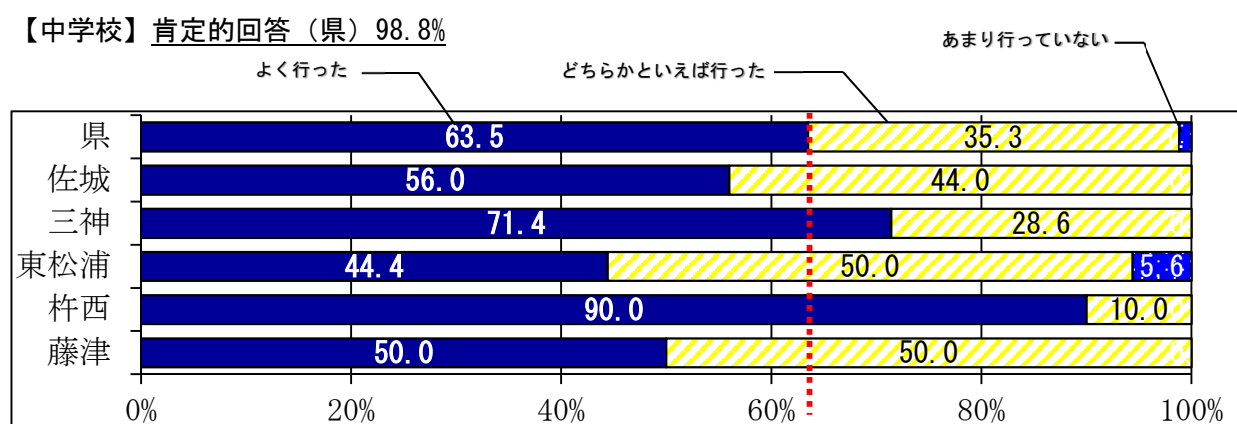
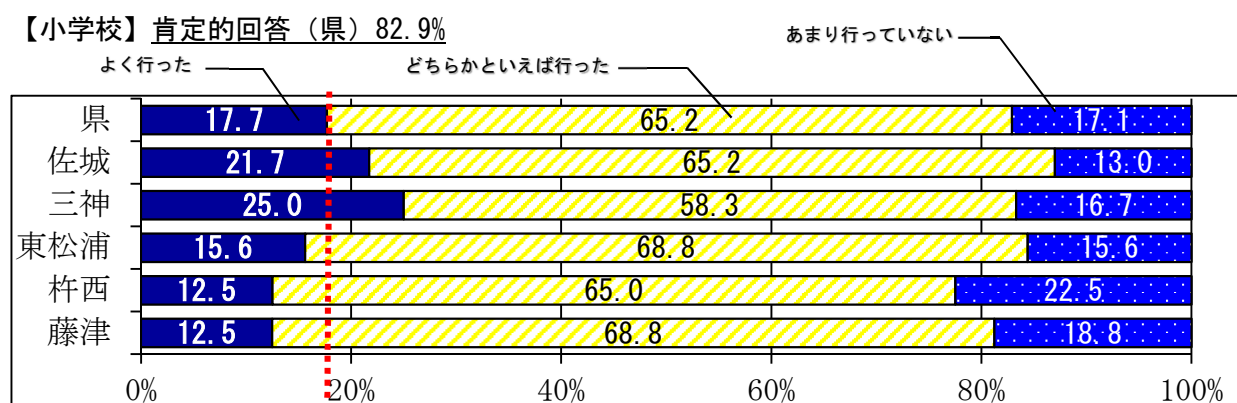
【中学校】肯定的回答（県）94.1%



② 指導方法・学習規律について

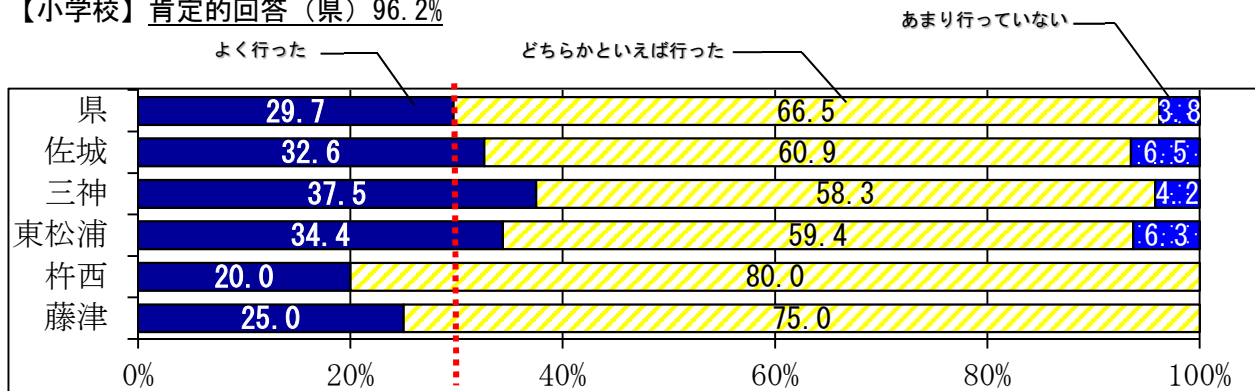
- 「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った」について、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校では20%程度であり、県と比べて三神地域が高く、杵西地域・藤津地域が低い。中学校では65%程度であり、県と比べて高い地域と低い地域の差が見られる。[グラフ 48]
- 「習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った」について、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校では30%程度であり、県と比べて三神地域が高く、杵西地域は低い。中学校では35%程度であり、県と比べて三神地域・杵西地域が高く、藤津地域が低い。[グラフ 49]
- 「学習規律の維持を徹底している」について、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校では65%程度であり、県と比べて三神地域・東松浦地域が高く、佐城地域・藤津地域が低い。中学校では70%程度であり、県と比べて佐城地域・三神地域・藤津地域が高く、東松浦地域が低い。[グラフ 50]

[グラフ 48] 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った。

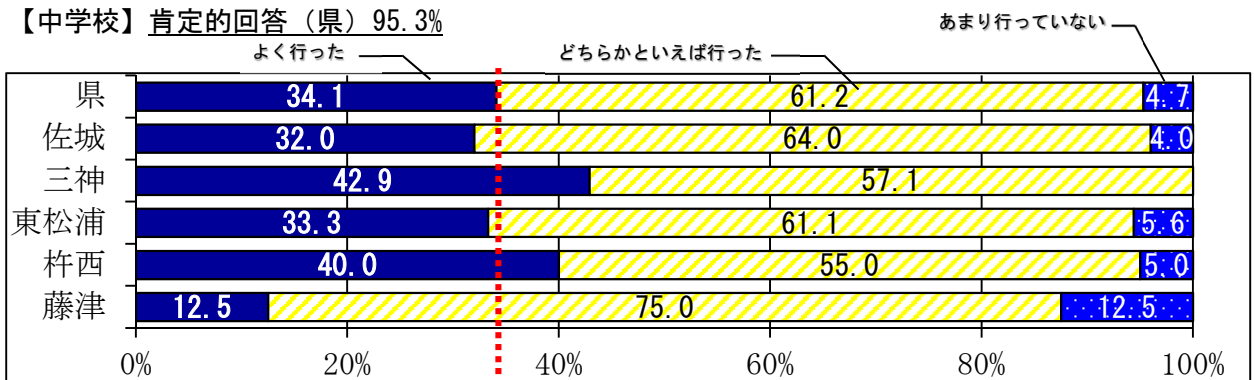


[グラフ 49] 習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った。

【小学校】 肯定的回答（県）96.2%

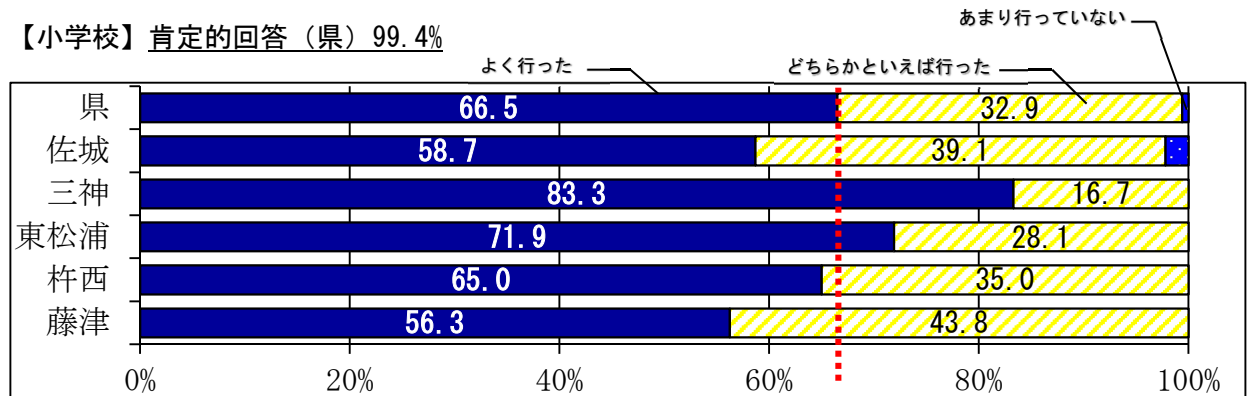


【中学校】 肯定的回答（県）95.3%

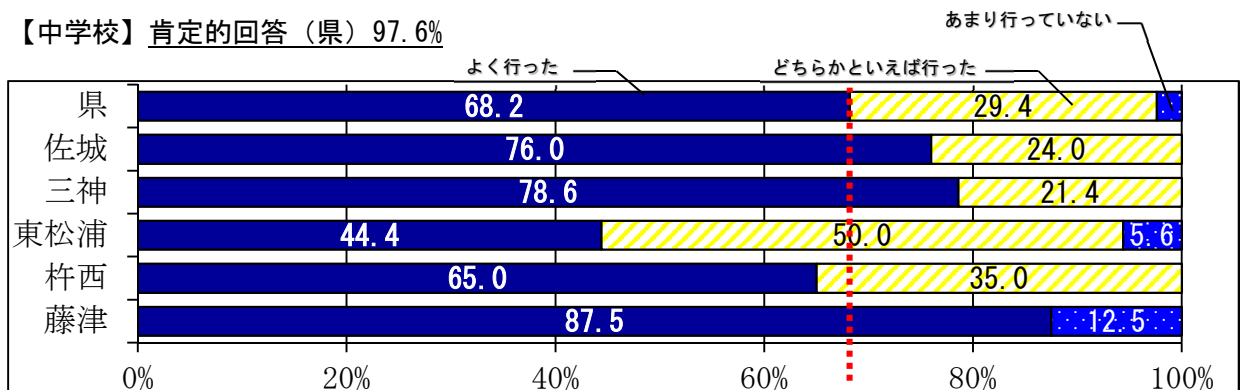


[グラフ 50] 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底している。

【小学校】 肯定的回答（県）99.4%



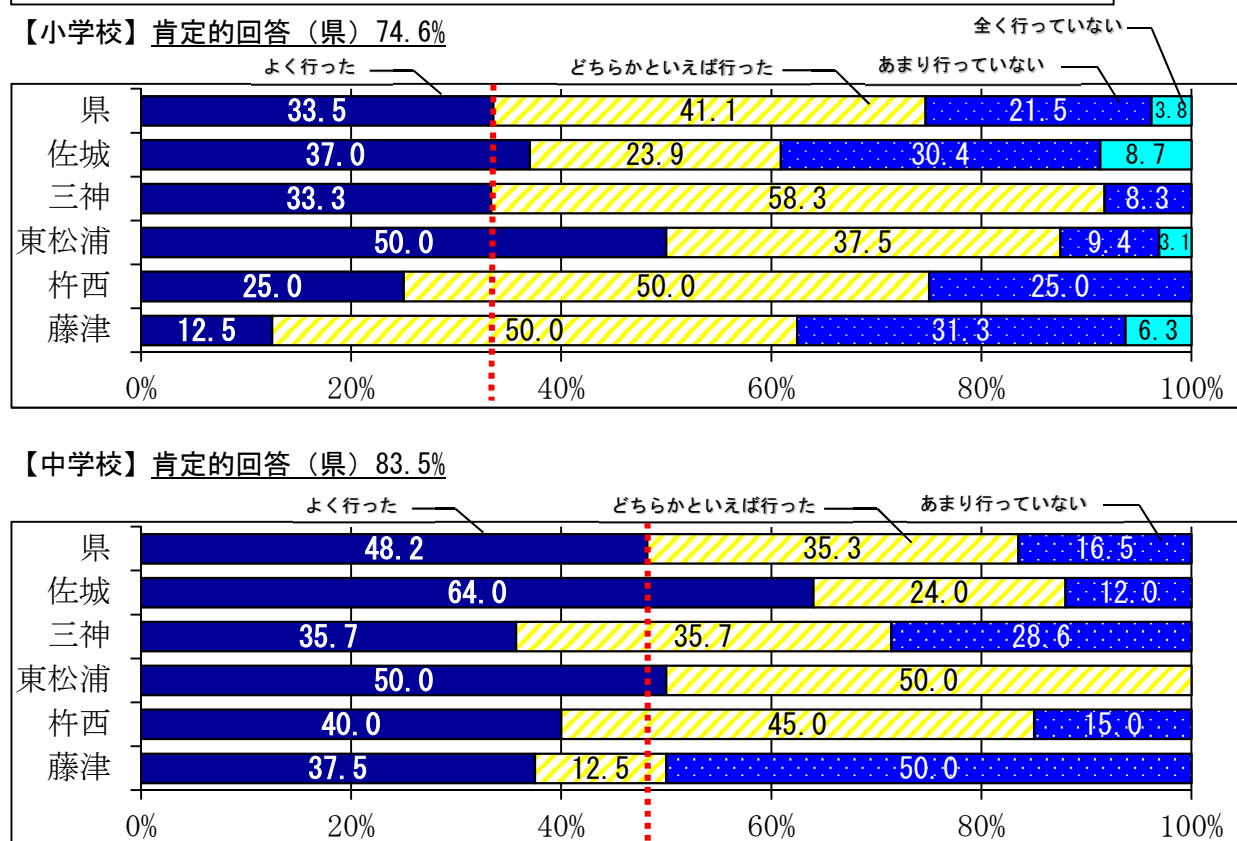
【中学校】 肯定的回答（県）97.6%



③ 小学校教育と中学校教育の連携

- 「近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った」について、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校では35%程度であり、県と比べて東松浦地域が高く、杵西地域・藤津地域は低い。中学校では50%程度であり、県と比べて佐城地域が高く、三神地域・杵西地域・藤津地域が低い。[グラフ 51]

[グラフ 51] 近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。

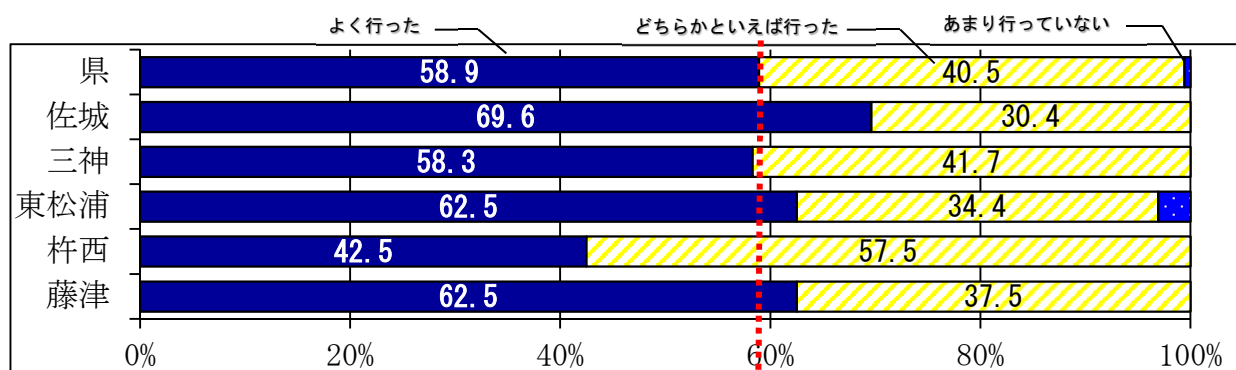


④ 家庭学習について

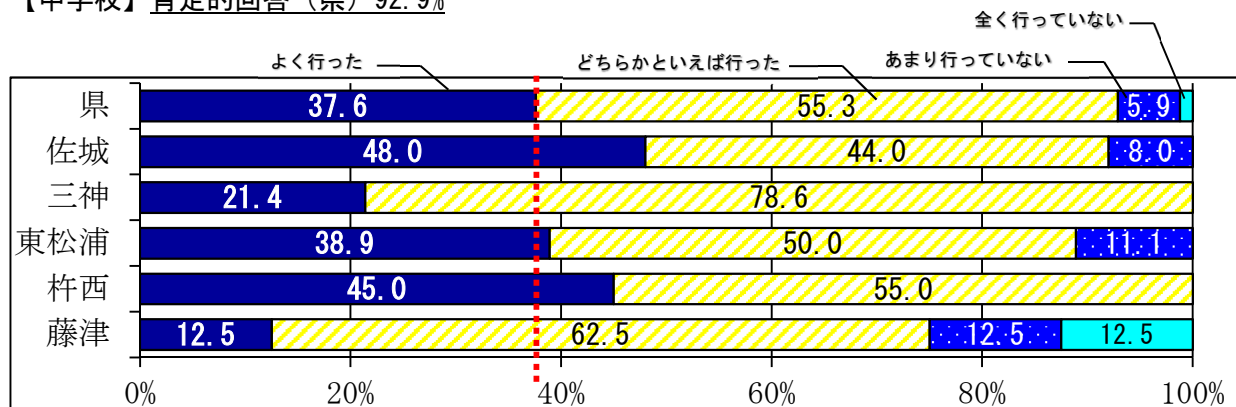
- 「保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行った」について「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校では60%程度であり、県と比べて佐城地域が高く、杵西地域が低い。中学校では40%程度であり、県と比べて佐城地域・杵西地域が高く、三神地域・藤津地域が低い。[グラフ 52]
- 「家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた」について「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校では35%程度であり、どの地域も県と同程度である。中学校では15%程度であり、地域により取組の差が見られる。[グラフ 53]

[グラフ 52] 保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行った。

【小学校】 肯定的回答（県）99.4%

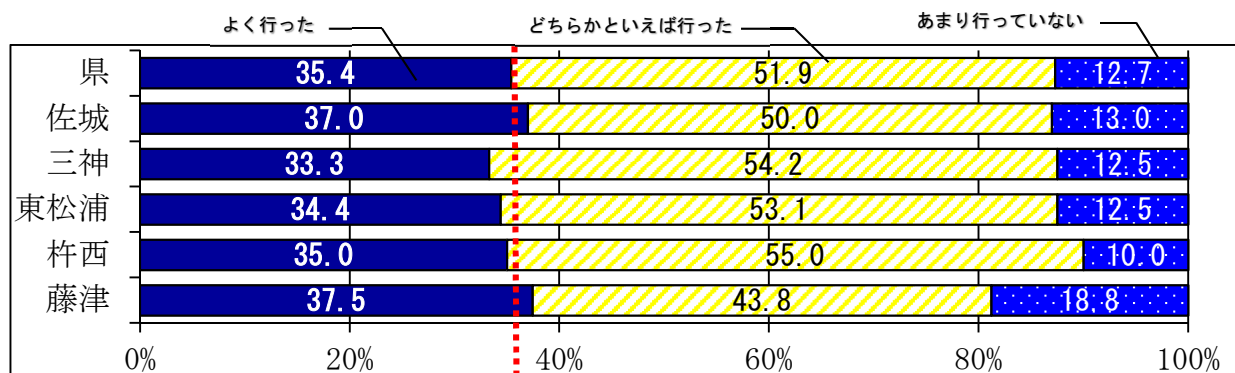


【中学校】 肯定的回答（県）92.9%

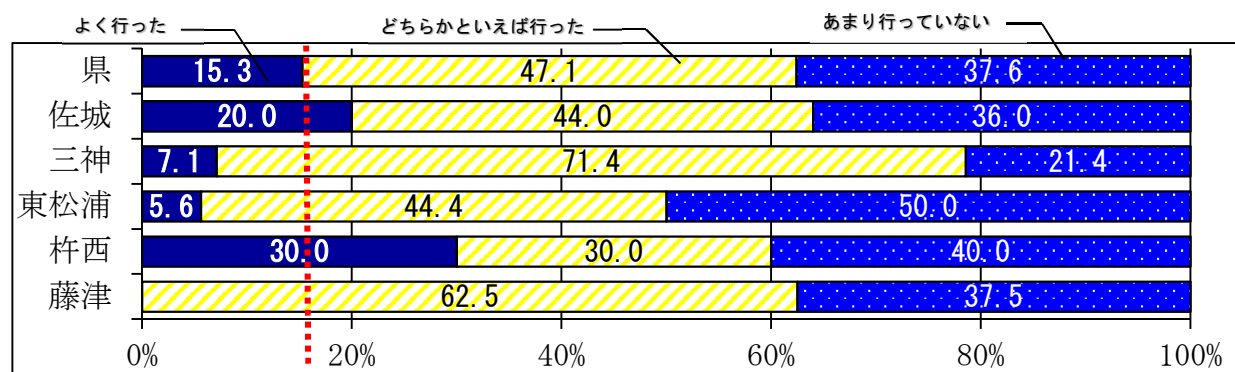


[グラフ 53] 家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた。

【小学校】肯定的回答（県）87.3%



【中学校】肯定的回答（県）62.4%

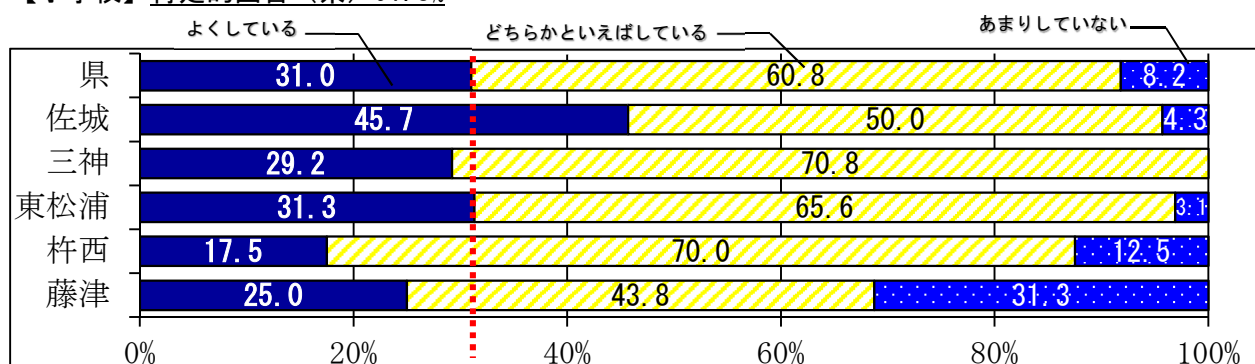


⑤ 教職員の取組について

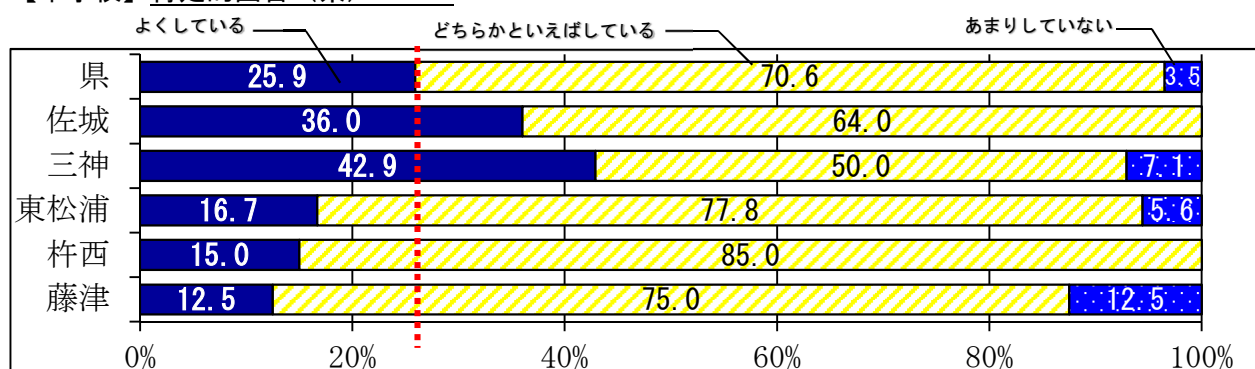
- 「一連のPDCAサイクルを確立している」について「よくしている」と回答した学校の割合は、小学校では30%程度であり、県と比べて佐城地域が高く、杵西地域・藤津地域が低い。中学校では25%程度であるが、地域により取組の差が見られる。[グラフ54]
- 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」について「よくしている」と回答した学校の割合は、小学校では40%程度であり、県と比べて藤津地域が高く、三神地域が低い。中学校では35%程度であり、県と比べて佐城地域が高く、三神地域・東松浦地域が低い。[グラフ55]

[グラフ54] 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。

【小学校】肯定的回答（県）91.8%

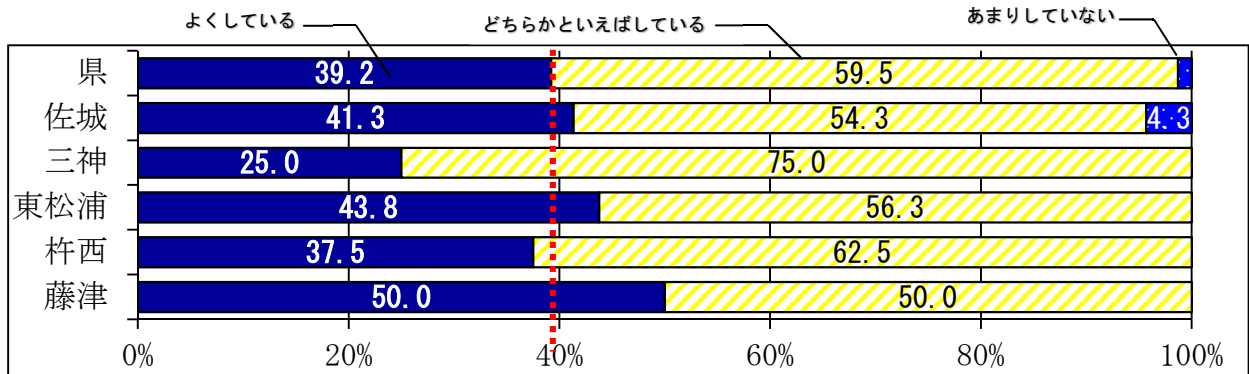


【中学校】肯定的回答（県）96.5%



[グラフ 55] 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている。

【小学校】 肯定的回答（県）98.4%



【中学校】 肯定的回答（県）89.4%

